

# 鎌倉 ハートナース



(ナナカマドとジョウビタキ／西畑直樹)

鎌倉市市民活動センター 広報紙 第97号 令和2年12月発行(季刊)

発行／編集：鎌倉市市民活動センター

<http://npo-kama.sakura.ne.jp/ce/index.html>

## リレートーク No.17

## こんな市民活動しています！

### ～ 認知症とともに生きるまちを創ろう！～



いなだ ひでたか  
稲田 秀樹さん

一般社団法人

かまくら認知症ネットワーク代表理事

<http://kamakuraninchishou.com/>

リレートークとは：鎌倉市で市民活動に取り組む人とその団体にスポットをあて、活動の様子を紹介するコーナーです。鎌倉らしい活動をされている方、地道にコツコツと頑張っておられる方がお近くにいらっしゃいましたら、リレーの輪に加わっていただきたいと思います。是非、お知らせください。

一般社団法人かまくら認知症ネットワークは、介護医療の専門職から認知症の当事者家族、市民へとつながるネットワークです。

今年度正会員 92 名のうち 5 割が介護医療の専門職、3 割が当事者家族、2 割が市民といった会員構成になっています。主な活動としては、認知症の人や家族の散歩の会である「かまくら散歩」(年 4 回)、若年性認知症の本人と家族のサロン「若年性認知症ほっとサロン」(年 6 回)などの社会参加を支援する活動、認知症の診断を受けた本人が発信する講演会「認知症について認知症の人から学ぼう！」(年 1 回)を開催しています。また 2019 年には認知症啓発のランニングイベントである「RUNTOMO+かまくら」の事務局を務め、鎌倉市内の当事者家族と施設関係者をつなぐ役割を担っています。音楽やアートを通じた当事者家族支援の展開も行っており、演奏会に複数の当事者や子供が参加しています。

他の地域とのネットワーク作りにも取り組んでいます。神奈川県内の認知症の支援者や当事者に呼びかけて、静岡県富士宮市で行なわれている「Dシリーズ・全日本認知症ソフトボール大会」に参加し、神奈川県大会の開催事務局として認知症の方の社会参加を促進してきました。今年、「認知症とともに生きるまち大賞」を受賞させて頂いた『「ヒデ2」とその仲間たち』はそれらの活動の集大成であると言えるでしょう。「ヒデ2」は、若年性認知症の人と私が 2017 年に結成したフォークデュオの活動です。これまで 100 回を超えるライブや講演会で歌ってきました。

また、かまくら認知症ネットワークの事務所のある鎌倉市今泉台では、私が運営するデイサービスの活動もあり、認知症のある人が地域住民と自然に交流したり、地域活動に参加したりする姿が見られます。高齢化した住宅地の住民が認知症を自然なこととして受け入れ、暮しているこのような姿が鎌倉市内全体へと広まっていくことを願っています。



# 第22回 かまくら市民活動フェスティバル

## ■ フェスティバルを振り返って

新型コロナが猛威を振るう中、第22回かまくら市民活動フェスティバルを無事開催できたことを、まずはご協力、ご参加いただいた団体、市民の皆さまに御礼いたしますと共に、当方の不手際により、ご案内が遅れ、ご参加のチャンスを逃された皆さまには深くお詫びをいたします。さて、本年は鎌倉市の基本計画がリリースされた年度でもあり、フェスティバルでは NPO、市民と市の担当課の対話を試みました。福祉厚生、緑、観光、街づくりなどのテーマで活発なクロストーク、ワークショップを行うことができ、いくつかの市民活動の芽が出ました。また、今回は企画段階から大学生の参加があり、当日の運営にも深く関わって頂きフェスティバルに活気をもたらしました。高校生の SDGs の事例の発表もあり、全体的に若い方向へシフトできたことも成果です。この流れは次年度以降も継続したいと思います。2回目となるフォトコンテストも市民参加者の広がりにも寄与しましたし、新企画の鎌倉野菜の販売は次回もやり方を工夫して継続したいものです。今後の課題として、告知、記録、当日ガイドなど個々の反省が多くある一方、フェスティバルそのものの開催場所や開催時期をあらためて検討してみる必要を感じました。例えば、市民参加や団体交流の場をイベントの2日間に限定するのではなく、分散型、通年で積み重ねた結果をフェスティバルで総合的に表現する、など。早速、来年度の実施計画を練り、企画段階からのご参加を皆さまにお呼び掛けしたいと思います。

(第22回 フェスティバル実行委員長 小島政行)



## ■ クロストーク

市民活動の展開のひとつとして、行政との「協働」があります。行政が何を考え、どういう方向に進もうとしているかを知ることが、今後の協働を進めるための第一歩と考え、鎌倉市の担当課と市民が率直に話し合う4つの対話の場（クロストーク）を設けました。初日の「まじりあい、支えあい、活かしあう地域づくり」では共生の考え方と地域社会のあり方をテーマに話し合い、「鎌倉×観光×教育」では鎌倉というまちの独自性と魅力を観光と教育の視点から読み解きました。2日目の「鎌倉のみどりを一緒に考えよう」では緑地保全の基本的な考え方を見直す時期にきていることを確認し、「鎌倉の共創を一緒に考えよう」では社会課題の解決のために参加者一人一人が行動を起こすきっかけが芽生えた手応えを感じました。どの対話にも若い世代の参加があり、今回のフェスティバルの全体テーマに沿った「未来志向」の意見が飛び交う活発なトークイベントになりました。



## ■ 鎌倉野菜の販売

事前告知無しのサプライズ企画でしたが、当日の朝、関谷の畑で収穫した野菜たちは瑞々しく、2日間ともあっという間に売り切れてしまいました。次回は販売時間や場所を見直し、より多くの方々に鎌倉野菜を知っていただき、食べていただく機会にしたいと思います。



## ■ ポスター展示

ポスター展示では29団体が参加。それぞれの団体の日頃の活動や得意技をご披露いただき、今後の取り組みやつながりたい人の募集も行いました。また、コロナ禍の状況下で影響を受けたことや新しく始めたオンライン会議など活動を継続するために行った団体の工夫の数々を来場者と共有することができました。ポスターを縮小して冊子にまとめ、会場で配布をしました。

## ■ SDGs フォトコンテスト

SDGs フォトコンテストの優秀応募作品展を行いました。昨年にも増して力作がそろい、SDGs の視点や関心が市民の間で広がりつつある感触を得ました。その一方で「貧困」「ジェンダー」「自然エネルギー」などの項目に応募がなかったことは残念でした。来年は17の目標全てに応募作品が集まるようにしたいものです。表彰式では松尾市長はじめ来賓の方々から各賞の授与がありました。



## ■ ワークショップ

「鎌倉広町の森市民の会」と「日本エコロジーアップサイクル協会」のご協力で2つのワークショップ「広町の森のドングリ工作」「マスクケースを作ろう!」を行いました。講師の方々の丁寧なアドバイスで作られられるオリジナルティ溢れる作品に参加者の満足度は高かったのですが、事前の告知が不十分で参加者が少なかったのは残念でした。次回は作品展も開催したいと思います。



## ■ 鎌倉の未来と SDGs

SDGs 未来塾、NAMIMATI(なみまち)、SDGsTV からそれぞれの団体・個人が取り組んでいる活動や調査に関するプレゼンテーションがありました。SDGs 未来塾からは高校生が多様なセクシャリティ「LGBTQ」について、NAMIMATI(なみまち)からは大学生が「海岸清掃を通じた環境意識の啓発とその伝え方の工夫」について、SDGsTV からは「映像を効果的に使った SDGs の伝え方」について意欲的な発表がありました。どの発表でも鎌倉の未来につながる真摯な取り組みが伝わり、現状の様々な社会課題をあらためて見直す、貴重な「気づきの場」となりました。発表を受けて、会場から様々なアイデアが飛び出すなど大いに盛り上がりました。このような場での交流をきっかけに多世代がもっと日常的にコミュニケーションできる「場」や新たなネットワークが生まれることを期待したいと思います。



## センターからのお知らせ

### 市民活動経理のキホン講座

開催日時：2月6日（土）10:00～12:30  
会場：NPOセンター鎌倉 2階会議室  
講師：関塚 通氏、後藤 和幸氏  
受講料：無料  
これから団体の経理を始める方、経験者の復習にも最適な講座です。年度末の会計処理、税務処理にも役立つ講座です。専門家の個別相談も開催。詳細はチラシを参照ください。

### 市民活動と地域をつなぐ講座

テーマ：認知症と地域のつながり  
開催日時：2月13日（土）13:30～15:00  
会場：NPOセンター鎌倉 2階会議室  
リモートでの参加もできます。  
講師：稲田 秀樹氏、ほか  
受講料：無料  
認知症ネットワークの稲田さんから高齢化が進む鎌倉での取り組みをご紹介いただき、地域のつながり、支えあいによって認知症を自然なこととして受け入れられる地域作りを一緒に話し合います。自治・町内会と市民活動団体との協働で地域の課題解決に取り組みましょう。

### ☆新規登録団体のご紹介（5団体）

#### ☆一般社団法人鎌倉映画学校

かつて、映画のまちだった鎌倉。しかし、今は映画館のひとつもありません。私たちは、活動を通して、将来、鎌倉に再び映画文化を根付かせることを目的としています。鎌倉市内におけるフィルムコミッション業務の遂行、および、映画業界で働く人たちの育成を目的としたセミナー・講演会の企画・運営をしています。

#### ☆明日の鎌倉をつくる会

コロナ禍のために、日本国中が疲弊しています。私たちの会ではこの疲弊感を何とかして打破し、少しでも希望のある明るい社会をつくりたいと考えています。住民主体の街づくりを目指し、鎌倉を良い町にしようと熱意のある話し合いがもたれています。

#### ☆なみまち NAMIMACHI

SDGs に沿った活動としてSNSや講演、イベントやプロジェクトを通して綺麗な海を守る活動をしている団体です。メンバーは、20前後の若者です。だからこそターゲットを若者にしぼり、これからの社会を担うZ世代に環境問題についての働きかけをしています。Z世代ならではのビーチクリーンイベントやSNSの構築、その他プロジェクトを行っていく予定です。

#### ☆世界の架け橋(BOW) Bridge Over the World

文学や芸術、スポーツや武道を通じた地域交流・国際交流を通じて、次世代の育成や市民活動および地域の活性化などに貢献しています。健康セミナーや教育・国際交流セミナー、文学・芸術やスポーツ・武道などの講演会を行い、そこでの意見交流やアドバイスを通じて地域社会を活性化。身近な地域社会に貢献しながら、さらに世界へと発信することもできる「世界の架け橋」となりうる「人材育成」も行っています。

#### ☆市民活動支援の会『蟹&牡丹』

鎌倉市市民活動センターでの12年の実績を生かし、日頃より社会貢献活動に努力されている団体の活動のお手伝いをさせていただくことを目的に設立しました。イベント等開催の支援、資料の作成、印刷の代行作業、事務所等のレイアウト相談など、お手伝いできることは何でもさせていただきます。お気軽にご相談ください。

#### 編集後記：

外出は控え、人とは会わず、しゃべらず、はしゃがず、顔は覆い、こまめに消毒し…困惑の1年が終わります。辛い中でも私たちは学んだこともあったはず。本当に大事なものは何か、とか、無駄なことしてたのでは？とか。まだまだ余談を許さぬ状況下ですが、♪そんな時代もあったねと～♪…笑える日が早くきますように。(A.T)

#### NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町 18-10  
TEL：0467-60-4555  
FAX：0467-61-3928

#### NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台 1-2-25  
(たまなわ交流センター1階)  
TEL/FAX：0467-42-0345

令和2年11月30日現在

利用登録団体数：384団体

※ 利用登録団体の登録内容（連絡先・代表者・活動内容等）に変更があった場合は、速やかにお知らせください。